

パラスポーツの聖地を目指して!

北海道釧路市

ベトナム社会主義共和国

ベトナムのホストタウンに決定!

国内唯一の坑内掘炭鉱である市内企業がベトナムからの技術者受入れ等の交流を継続していることを活かし、平成29年7月7日にベトナムを相手国とする2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されました。



蝦名市長（前列左から3番目）、中島ベトナム名誉領事（前列右から3番目）とベトナム研修生とのセレモニーの様子

「ベトナム文化を知ろう 触れて味よう!」開催

8月11日開催



ベトナムで人気のヨーグルトコーヒーを提供

釧路市は在住外国人の中でベトナム人が最も多いが、ベトナムのことについては、あまり知られていないことから、まずはベトナムとは、どういう国なのかということを知ってもらうために、これまでのベトナムとの交流についてのパネル展示やベトナムの紹介を行うセミナーを開催し、「ヨーグルトコーヒー」を提供するなど、多く参加者にベトナムと言う国を知ってもらうことができた。

ヨーグルトコーヒーを飲みながらセミナーに参加



ベトナム紹介のパネル展示コーナー



日本・ベトナムパラ・パワーリフティング合同合宿

北九州、ベトナムでの合宿誘致が功を奏し、今回の合宿が実現した。ベトナム代表選手4名（女子50kg級 ダン・ティ・リン・フォン選手、女子55kg級 チャウ・ホアン・トゥエット・ロアン選手、男子54kg級 グエン・ビン・アン選手、男子59kg級 グエン・ヴァン・フック選手）、日本代表選手2名（男子72kg級 斎藤伸弘選手、男子59kg級 戸田雄也選手）を招いて2日間、練習、調整を行い、2月2日～3日に東京で行われた「全日本選手権大会」に向けた事前合宿という位置付けで行われ、子供たち等との体験交流会も実施し、競技への関心が高まり、また、パラスポーツ全般の裾野の拡大が期待できる結果となり合宿は成功裏に終了した。

しかし、選手の移動に時間がかかる等、輸送面の課題が浮き彫りになったため、今後は、福祉車両の台数確保等の検討が必要である。

ダン・ティ・リン・フォン選手（左）
グエン・ビン・アン選手（右）



パワーリフティングを体験する小学生 初めての雪に興奮気味の選手達は、冬の北海道を堪能



ウェルカムパーティーで選手達をおもてなし



中島ベトナム名誉領事（左）からレ・カン・タイコーチ（右）へ着物風ハンカチをプレゼント



練習に励むグエン・ヴァン・フック選手



パラ・パワーリフティング体験交流会参加者と選手達との記念撮影



釧路市丹頂鶴自然公園で合宿メンバー記念撮影

合宿誘致へ!

いる北九州のワールドパラパワーリフティング選手権大会(9月)、ベトナムスポーツ総局・パラリンピック委員会(12月)!

北九州2018 ワールドパラパワーリフティング大会でベトナムスポーツ総局 国民皆スポーツ部 障がい者スポーツ課 ホー・タイン・ミー課長（左）と会談



蝦名市長（前列左から3番目）、ベトナムスポーツ総局 ヲン・ビク・タン総局長（前列右から3番目）

事前合宿実現のため、ベトナム選手が参加して